

『学校力向上に関する総合実践事業』コーナー その3

今号は「日常授業の改善に直結する校内研究・研修の重点化」について紹介します。校内研究とは、教師の授業力向上のために、確かな理論に基づいたよりよい授業づくりを全教職員の知恵を結集して、授業実践や話し合いを通して互いに学び合う場です。

今年度、本校は、研究主題を『互いの考えを聴き合い、深め合う授業づくり～国語科・算数科における言語活動の充実と学習過程の工夫を通して～』と定め、子どもたちが考えを互いに伝え合い、聴き合う場面の設定を工夫することで、学びの楽しさを実感させ「夢中になって笑顔で」学ぶ姿（子ども像）を目指しています。



5月9日（金）に5学年で鈴木教諭（研究部長）による提案授業を行いました。教科は算数です。この日の1つ目の問題は…

**〇1mのねだんが80円のリボンを2.3m
買いました。代金はいくらですか。**

家庭学習でこの日の学習の「予習」をしている5年生。「 80×2.3 」という式やこの計算の解き方については何となく分かっています。

まず、最初の「**教える**」の場面では、5年生とのやりとりや担任の説明から

① $80 \times 23 = 1840$ （2.3を10倍して計算）
② $1840 \div 10 = 184$ （出た値を1/10する）

というやり方をつかませます。

次の、「**理解確認**」の場面では、「 180×1.6 」という式になる問題で、整数×小数のやり方が分かっているか確認します。ここでは、自力解決の時間を少しとった後、3人1組のグループになり、一人ずつの解き方を聴き合い、全体でも確認。整数×小数の計算の仕方に自信をもった5年生からは笑顔が見られます。

続いては、「**理解深化**」の場面。ここでは、「 320×0.85 」という式になる少し難しい問題にチャレンジします。夢中に問題に取り組む15名。初めに解いた問題と同じように…

① $320 \times 85 = 27200$ （0.85を100倍して計算）

の第一段階まではほぼ全員が同じになった5年生。

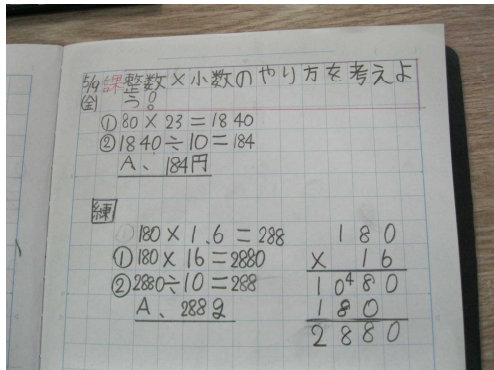
ところが、グループでのやりとりを通じて、答えややり方の違いに気付きます。

② $27200 \div 10 = 2720$

② $27200 \div 100 = 272$ （こちらが正解）

「あっ間違えた!」「そっかー!」「100倍したから100分の1にするんだ!」間違えた子たちからは暗い表情は見られません。グループで他の子の考えを聴き、正しい解き方に気付いたことの喜びの方が大きく、ここでも5年生からは笑顔があふれました。

最後の「**自己評価**」の場面。ノートには「100倍して計算した時は、最後に100分の1すればいいことが分かった」など、この授業での新たな気づき等が書かれていました。



このように、今年度の算数の授業改善では、「教える」→「理解確認」→「理解深化」→「自己評価」という学習の各場面を通じて、子どもたちが基本的な問題の解き方を確実に定着し、グループで互いの考えを聴き合いながら活用問題を解決するという流れの『**教えて考えさせる授業**』の創造に取り組んでいきます。

初めての授業実践としては成果が多く、何より子どもたちが初めは戸惑いながらも、授業が進んでいくうちに「笑顔」で「夢中」に問題に取り組む姿が印象的でした。

まだ課題も多く、全校的にこの授業が確実に展開されるまでには時間がかかりますが、子どもたちにより確かな学力を身に付けさせていくために、全教職員でよりよい授業づくりに関わっていきたいと考えています。

